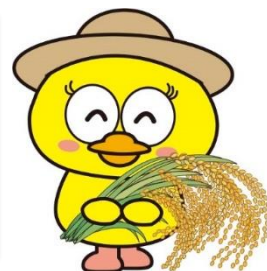


担い手農家・農業法人・集落営農組織むけ情報誌
お時間がある時にご覧いただきますようお願い申し上げます。

米の出荷について

需要に基づく農産物の生産販売体制構築のため、JAでは播種前契約による生産販売を強化しています。ユーザーとの契約数量を守ることが、産地の信頼性を高め、継続的な稲作を可能とします。

JAとの出荷契約数量分のお荷については、組合員の皆さまのご協力をお願いします。



農業用廃プラスチック回収

農業用使用済みプラスチック類の一括回収を下記の日程で行います。年に一度の回収となりますので、この機会にご利用下さい。

なお、回収にあたっては「委任状」や「車両への備え付け書類等」が必要となります。詳しく書いたチラシがありますので、TAC担当、またはお近くの支店窓口、営農経済センター、各営農経済係までお問い合わせ下さい。

地区名	回収日	時間	回収場所
高月	10月26日(土)	9:00~11:00	高月カントリーエレベーター
木之本			木之本ライスセンター
余呉		9:00~11:00	余呉ライスセンター
西浅井	永原カントリーエレベーター		
浅井	11月9日(土)	9:00~11:00	浅井カントリーエレベーター
びわ			びわカントリーエレベーター
虎姫			虎姫大井倉庫
湖北			湖北西部ライスセンター

処分費は廃プラ600円/個、育苗箱60円/枚程度の見込みです。(購買請求書へ計上)

プラスチック類を持ち込む時の注意点

- 育苗箱: 10枚単位で梱包します。
- 肥料袋: 約10kg(80枚程度)で1個分です。
- ハウスビニールシート: 約10kgで1個分です。
- 畔波シート直径30cm程度2巻で1個分です。



畔波シート



シルバーシート



トレイ

年一回の廃棄農薬回収を行ないますのでご利用下さい。

日時: 令和6年11月11日(月)

持ち物: 印鑑(廃棄物処理委任状押印のため)

回収地区	回収場所	時間
浅井・虎姫地区	浅井支店 営農経済係	朝8時30分～10時00分
びわ地区	びわ支店 営農経済係	10時30分～12時00分
湖北地区	営農経済センター	10時30分～12時00分
高月地区	高月支店 営農経済係 (旧北部営農経済センター)	14時00分～15時30分
木之本・余呉・西浅井地区	木之本支店 営農経済係	14時00分～15時30分

※地区によって回収時間が異なりますのでご注意ください。

廃棄農薬処理価格表

廃棄農薬の種類	備考	単位	税込価格
一般農薬(汚泥・廃油)	粉剤、粒剤、水和剤、液剤、乳剤等 ※箱剤大袋(内アルミ)含む	1kg	550円
特殊農薬①	その他有害物含む有農薬(砒素・鉛・シアン等)	1kg	2,720円
特殊農薬②	燻煙剤: クロールピクリン等	1kg	3,780円
特殊農薬③	POPS: PCP、PCNB、BHC、ケルセン等	1kg	4,720円
特殊農薬④	不明品: 粉、粒、液等	1kg	4,720円
特殊農薬⑤	水銀含有農薬	1kg	11,000円
空容器	ガラス	1kg	1,310円
	プラスチック	1kg	650円

注) 現金での取り扱いはできませんのでご注意ください。(購買請求書に計上)



成熟期と収穫適期について

- ①大豆の成熟期は葉が完全に落葉し、莢を振ればカラカラと音がする時期です。
- ②収穫適期は成熟期より4～14日後です。
- ③収穫できる天候条件

前日の天候	当日の天候	当日の刈取り
晴れ・曇	晴れ・曇	11時～16時頃まで
雨	晴れ・曇	行わない ※注)



※注) 当日のほ場や豆の乾き具合を確認し、刈取り可能であれば刈取りを行う。

コンバイン収穫の注意事項について

- ①収穫前には必ず雑草や青立ち株を抜き取ります。
- ②子実水分18%以下、茎水分55%以下(茎がポキッと折れる状態)に作業を行います。
- ③地際部の刈取り(土噛み)に注意します。

汚損粒の発生要因です。ご注意ください。特にイヌホオズキは少しでも入ると大豆が着色し品質が低下するのでお気を付けください！！

イヌホオズキ・・・ブルーベリーのような果実



乾燥について

- ①常温乾燥を原則とし、火力乾燥の場合は30℃以下で行います。
- ②穀粒水分は14%に仕上げます。15%以上は検査規格外となり、検査を受検できません。

JA大豆施設の利用について

JA北びわこ虎姫ライスセンターにて行います。ご利用を希望される方は、大豆施設利用申込書を営農経済センター・営農経済係またはTACまでご提出下さい。

大豆施設利用料金表

大豆施設利用料金 (仕上げ大豆60kg当たり)	
荷受水分	利用料(税別)
13.0%以下	¥1,560
13.1～14.9%	¥1,380
15.0～17.9%	¥1,620
18.0～19.9%	¥1,680
20.0～21.9%	¥1,740
22.0～22.9%	¥1,800
23.0%以上	¥1,860

収穫適期



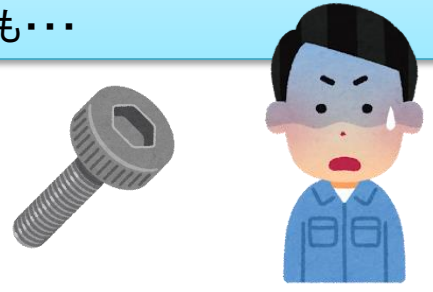
大豆フレコン出荷に関する注意点

昨年より、販売先の理解を得て、可能になった大豆の個人調製フレコン出荷ですが出荷に関する注意点をご紹介します！

①異物混入

実際に、金属片（ボルトやナット、画びょう）やプラスチック片（キャップや板、ざる）、陶器（湯呑）などの混入事故でクレームが発生しています。これらに加え、植物の種子（イヌホオズキ等）やコンタミも同様にクレームや損害賠償の対象となる恐れがありますのでご注意ください。

場合によっては再選別にかかる費用や返品品の運賃などが発生するだけでなく、大豆の個人調製フレコンの取扱いができなくなる可能性も…



②フレコン出荷取り扱い品種

里のほほえみ、ことゆたかA1号

※くず大豆は、紙袋での出荷をお願いします。

穀粒水分にお気を付けください！
15%以上は検査規格外となり、検査を受検できません。再度乾燥し、出荷いただくこととなりますのでご注意ください。

③フレコン規格

皆掛重量 915kg

(正味重量900kg+余マス12kg+フレコン包装袋3kg)

④選別・出荷

出荷は粒径を分けてフレコン詰めしていただき、個人フレコン明細票に住所・生産者名・品種・粒径をご記入の上、フレコンポケットに入れてください。

フレコン明細票は生産記録と一緒に配布させていただきます。

また、皆掛重量915kgに満たない端量につきましては紙袋に詰めて出荷いただきますようお願い申し上げます。



個人フレコン明細票	
荷受日 月 日	
出荷 フレコン番号	
住所	
生産者名	
出荷する品種・粒径を ○で囲んで ください	里のほほえみ ・ ことゆたかA1号 大 ・ 中 ・ 小
※フレコン出荷時には、この伝票に記入し フレコンの伝票袋へ入れて下さい。	

令和7年産大麦の播種前契約に基づいた播種をお願いします。

播種前契約は需要に基づく生産を行うにあたって、また安定した販売と農家手取りを実現するために非常に重要ですので、令和7年産麦の播種前契約面積に対し過不足の無い播種をお願いします。

大麦(ファイバースノウ)の播種適期: 10月15日~31日

大麦の播種適期は10月15日前後ですので、適期播種を目指してほ場の準備作業をお願いします。適期よりも早い播種や播種量が多い場合、過繁茂となり倒伏や子実が小粒傾向となる恐れがありますので、下表を参考に播種量は8~9kg/10aで適期播種していただくようお願いします。

また、台風や雨天が続き、やむを得ず播種作業が11月初旬になった場合、適期播種より若干の減収にはなりますが、過去の試験結果から、播種量を基準播種量より多めの10kg/10a程度まで増やす事により11月10日頃の播種でも、減収幅を抑えることができます。

●播種時のポイント

ファイバースノウは湿害に弱いため、明渠・暗渠の設置など排水性の確保について 最善の対策をお願いします。

大麦播種量の目安

播種時期	10/15~10/25頃	10/25以降
播種目安量	8~9kg/10a	9~10kg/10a



○早めの額縁排水溝の設置

水稲収穫後、早めに額縁排水溝を設置し、中干し溝と併せてほ場を乾かします。また、コンバイン収穫で荒れているほ場の上下は出来るだけ均平作業を行ないます。



○排水溝の設置

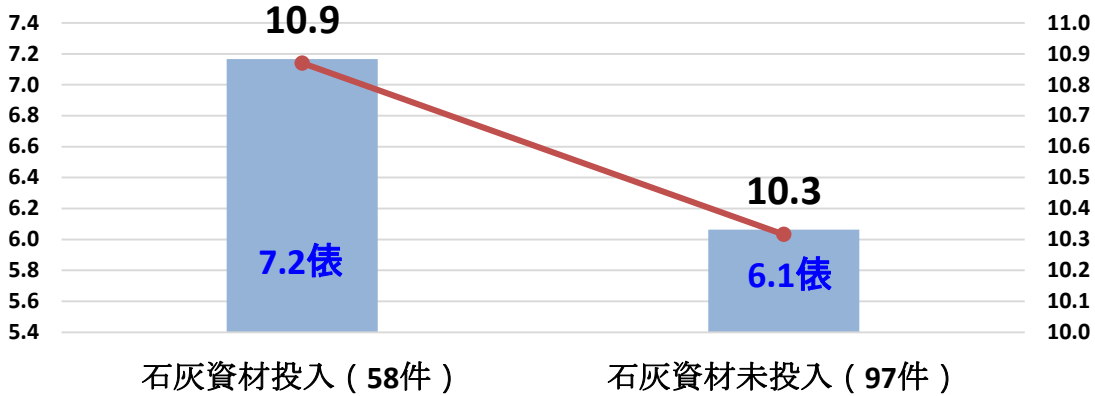
田の乾湿に合わせて、排水溝の間隔を決め(排水の悪いほ場では畦幅を狭く)、畦面や排水溝に水たまりが出来ないように表面排水を行います。また、必ず排水溝を排水口までつなげます。



6年産大麦について

6年産大麦の生産記録を分析し、出荷データと照合したところ以下の結果となりました！
 次年度以降の大麦の反収増大に向けて参考にご覧ください！！

R6 石灰資材投入による反収・タンパク値の比較



大麦は小麦に比べ酸性に弱い
 ため、**石灰質資材を積極的に施用し**
 収量・品質向上を目指しましょ
 う！

参考例

■ 平均反収 ● 平均タンパク値



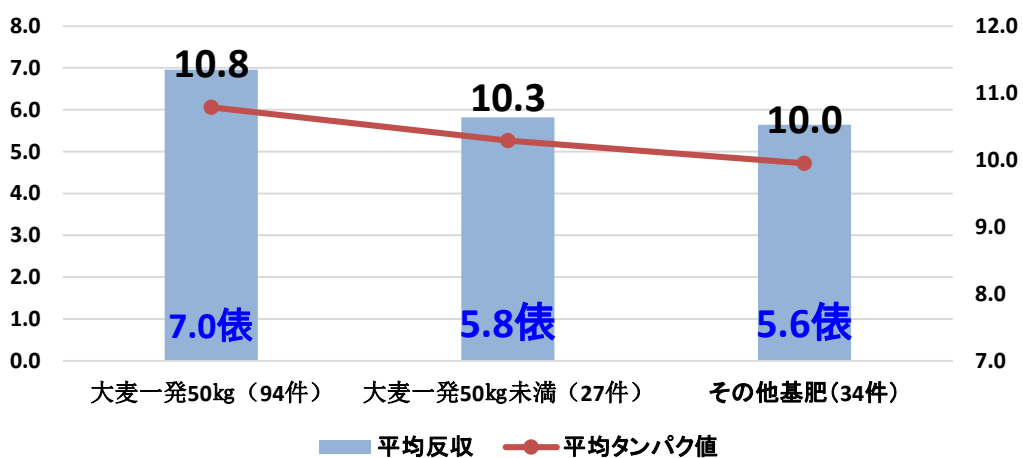
苦土石灰未施用圃場

苦土石灰連用圃場

○土づくりの実践(石灰質資材等の施用)
粒状苦土石灰(100kg/10a)を施用します
 土壌pHの目標値は**6.5**になります



R6 基肥による反収・タンパク値の比較



元肥を**基準量**
施用し、収量向
 上に努めましょ
 う！



(努力)

令和7年産でも”土力UP”チャレンジ！

”イネは地力でとる”を見直そう！JAが応援します！

- ①令和7年産でもコメの概算金に”土力UP加算金”を設けます！
※令和7年産北びわこ生産基準米の栽培面積のうち、要件を満たす土づくり肥料を基準量以上施用した面積×8.5俵を上限として、北びわこ生産基準米の出荷1俵につき300円を加算します！
- ②”土づくり”をタイプ別に提案します！
- ③散布の心配は不要です！JAにお任せください(1,100円(税込)/10a)。
土づくり肥料を積極的に施用しましょう！

タイプ

おすすめ肥料

資材要件

- A**
- ・バランスよく土づくりをしたい
 - ・複年で土壤養分を改善したい



とれ太郎スーパー
基準量：60kg/10a

リン酸・ケイ酸・アルカリを
保証する肥料

《ク溶性リン酸・苦土・ケイ酸・アルカリ分をバランスよく含む総合的な土づくり肥料！》

- B**
- ・不足成分に特化して補いたい
 - ・特に品質の向上を狙いたい



けい酸加里プレミア34
基準量：秋春 40kg/10a
追肥 20kg/10a

ケイ酸・加里を保証する
肥料

《管内で不足しているケイ酸と加里の吸収効率を高めた土づくり肥料！》

- C**
- ・複年で転作に取り組んでおり、
大麦や大豆の収量も高めたい



新ふりかけ堆肥eco
基準量：100kg/10a

牛フン堆肥を濃縮した肥料
または
牛フン堆肥1t/10a以上

《腐植酸と有機物の効果で地力窒素を向上させ土壤のバランスを改善する肥料！》

土壌分析

管内の農家を対象に、**無料**で土壌分析を行っております。

近年、水稻の収量・品質低下の原因の一つには、地力の低下が考えられます。ご自身の水田土壌の状態を調べ、不足している養分を補う事が収量・品質向上の第一歩です！

資材投入を機に土壌分析をご希望の方は、お気軽に各担当TACまでご相談ください！！

対象者

管内の農家

分析点数

1件あたり5点までとします。(5圃場)

土壌分析基本項目

水田:pH、EC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他:pH、EC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸、硝酸態窒素

5点まで無料！



どの土づくり肥料を施用すればよいか迷っておられる方、一度土壌分析をされてはいかがですか？

ごま葉枯病について

ごま葉枯病は収量や品質を大きく低下させる要因の1つで、収量を安定的に確保するため防除対策が必要になります
今年も管内の一部の圃場でごま葉枯病が確認されていますので対策を紹介します！

○稲わらの秋すき

○土壌改良資材の施用

けい酸加里の成分はごま葉枯病対策に最適

欠乏するとごま葉枯れ病が発生しやすくなる
カリ、ケイ酸、苦土、鉄を含んでいます



保証成分(%)				含有成分(%)	
く溶性加里	可溶性けい酸	く溶性苦土	く溶性ほう素	石灰	鉄
20	34	4	0.1	7~12	2~5

使い方	施用量 (10a当たり)	施用時期
秋春施用	4 0 kg	耕起前
中間追肥	2 0 kg	出穂45日~35日

令和7年産水稻に向けた下準備について

秋耕を実施して稲わらを分解し、次年産の初期生育確保！

「秋起こし」は、本田内でワラを分解させることを目的に行います。

秋起こしのメリット

○地力増進効果

ワラの早期鋤込による堆肥化促進、
還元障害(ヤミ田)の抑制効果

○病虫害抑制効果

いもち病・紋枯病等の菌やニカ
メイガの越冬虫をワラごと鋤込む
ことで次年の被害減少効果

○雑草対策

オモダカ・クログワイ等の塊茎を掘り出し地表面の寒さで枯死させ、
翌年の雑草発生減少効果



秋起こしの方法

～時期や圃場条件で方法を変えましょう～

☆気温の高い時期(10月初旬頃まで)に実施する場合

→圃場の排水対策(排水口開放等)を確認し、深耕(15cm程)する

★気温が低くなってから(10月下旬以降)、乾きにくい圃場の場合

→排水対策(明渠・暗渠等)を施工し、浅耕(5~10cm程)する

湿田では排水性を高めることが重要！

秋起こしと併せて、土づくり資材を施用し、令和7年産水稻に備えましょう